

# 地域・民族・性の交差を／から 見つめる森崎和江

## 報告・討議・映像作品上映によるアプローチ

2023年3月3日（金）10：30-17：50

立命館大学衣笠キャンパス 充光館地下ホール

※車椅子ユーザー鑑賞エリアあり

2022年6月に亡くなった森崎和江は朝鮮半島で生まれ、九州にわたり、日本／アジアの風土と女性たちの生を見つめ・記録し続けた。森崎和江がかかわっていた木村栄文・RKB毎日放送のドキュメンタリー『まっくら』（1973年、構成：森崎和江）と『祭りばやしが聞こえる』（1975年）の上映会をおこない、森崎の活動と思想、朝鮮半島との関係をフェミニズム、ポストコロニアル的観点から位置づけ直す。

### プログラム

10:00 開場

10:30 開会

10:30～10:35 趣旨説明・進行の説明

10:35～10:45 開会の挨拶（西成彦）

◆第1部 フェミニズムの地平から

10:45～11:10 報告1：大畑凜

11:10～11:35 報告2：柳原恵

11:35～11:50 質疑応答

11:50～12:50 休憩

◆第2部 植民地／朝鮮の地平から

12:50～13:15 報告1：原佑介

13:15～13:40 報告2：申知瑛

13:40～13:55 質疑応答

◆第3部 「[討議] ポストコロニアル×辺境×フェミニズム—その交差性から見えてくるもの」

13:55～14:30 大畑凜・柳原恵・原佑介・申知瑛・村上潔（第1部司会）・金友子（第2部司会）による討議

14:30～14:50 休憩

◆第4部 映像上映と解説

14:50～15:35 『まっくら』（1973年、RKB毎日放送）上映（45分）

15:35～16:55 『祭りばやし聞こえる』（1975年、RKB毎日放送）上映（80分）

16:55～17:20 解説（神戸金史）

17:20～17:45 質疑応答／コメントなど

17:45～17:50 閉会アナウンス

主催：立命館大学生存学研究所・  
国際言語文化研究所ジェンダー  
研究会・ジェノサイド研究会  
協力：RKB毎日放送

